

令和3年度(2021年度)

管理事業名	財政事務事業			総合計画の体系	大綱 8 政策 1 施策 1	行政経営 行政資源の効果的活用 効果的・効率的な行財政運営の推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 1 一般管理費
部局名	行政経営部 都市計画部	予算執行所属	企画財政室、都市計画室			
予算大事業名 財政事務事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)財政調整基金積立金(大事業)財政事務事業 (款)民生費(項)国民健康保険費(目)国民健康保険特別会計繰出金(大事業)財政事務事業(ほか繰出関連7事業) (款)公債費(項)公債費(目)元金(大事業)財政事務事業(ほか公債関連2事業) (款)諸支出金(項)公共施設等整備積立基金費(目)公共施設等整備費積立金(大事業)財政事務事業					
事業の目的と概要 ・市の各種施策を実施するための予算編成を行い、予算が適正に執行されているかを管理するとともに、財政状況の公表、地方交付税に関する事務等、財政に関する事務を行います。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
赤字地方債発行額 (臨時財政対策債発行可能額)	千円	0 (1,189,905)	1,700,000 (1,717,885)	0 (5,059,400)	臨時財政対策債等の赤字地方債発行額。第4次総合計画における財政運営の基本方針のもと、発行を極力抑制することを目標とします。
経常収支比率	%	96.7	95.2	93.8	経常的経費に充当された一般財源が経常一般財源に占める割合。第4次総合計画における財政運営の基本方針のもと、95%以下とすることを目標とします。
成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市税等の減少や、感染症対策経費の増大による収支不足を解消するため、例外的に臨時財政対策債を発行しましたが、令和3年度においては発行しておらず、目標を達成しています。 ・経常収支比率については、令和2年度から改善し95%以下となったため、目標を達成しています。 				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	488,729	4,553,115	2,547,868	△2,005,247
府支出金(経常費用充当)	1,878,104	1,961,227	1,970,930	9,703
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	500,000	-	△500,000
他会計からの繰入金	-	-	32	32
受取利息及び配当金	25	55	88	33
その他	9,478,008	11,205,936	15,532,564	4,326,628
経常収入 小計(a)	11,844,866	18,220,334	20,051,482	1,831,148
給与関係費	117,207	97,907	89,088	△8,819
物件費	3,992	7,731	2,887	△4,844
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,897,550	2,774,553	2,881,052	106,499
特別会計への繰出金	8,342,948	8,300,266	8,409,711	109,445
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	9,947	8,611	6,708	△1,903
退職手当引当金繰入額	10,166	△8,663	△3,144	5,519
支払利息	85,461	56,061	20,500	△35,561
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	11,467,272	11,236,465	11,406,800	170,335
経常収支差額(a)-(b)=(c)	377,595	6,983,868	8,644,682	1,660,814
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	△9,362,983	△11,882,852	△15,413,784	△3,530,932
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△8,985,389	△4,898,983	△6,769,102	△1,870,119
一般財源充当額	18,050,024	6,113,452	8,599,193	2,485,741
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	9,064,635	1,214,469	1,830,091	615,622

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金 (経常費用充当)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,003,867千円の減 国民健康保険基盤安定負担金 6,410千円の減
負担金・補助金・交付金等	下水道事業会計負担金 107,085千円の増
特別会計への繰出金	介護保険特別会計繰出金 171,680千円の増 後期高齢者医療特別会計繰出金 11,952千円の減 国民健康保険特別会計繰出金 84,957千円の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,481,883	7,137,482	4,637,698	△2,499,784
行政サービス活動支出	11,465,121	11,254,116	11,417,647	163,531
行政サービス活動収支差額	△8,983,238	△4,116,634	△6,779,949	△2,663,314
投資活動収入	-	-	179,900	179,900
投資活動支出	7,285,588	1,956,182	300,627	△1,655,555
投資活動収支差額	△7,285,588	△1,956,182	△120,727	1,835,455
財務活動収入	-	1,700,000	-	△1,700,000
財務活動支出	1,781,198	1,740,636	1,698,517	△42,119
財務活動収支差額	△1,781,198	△40,636	△1,698,517	△1,657,881
収支差額 合計	△18,050,024	△6,113,452	△8,599,193	△2,485,741
一般財源充当額	18,050,024	6,113,452	8,599,193	2,485,741
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動支出	特別会計への繰出による支出
投資活動支出	基金への積立による支出
財務活動支出	市債元金の償還による支出

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	30,663 円	特別会計への繰出金等の増加に伴い、市民1人あたりのコストが増加しました。(各年度3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	令和2年度	376,944 人	29,809 円	
	令和3年度	378,781 人	30,114 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	1,707,128	1,739,757	32,629	
	未収金	-	-	-	地方債	1,698,517	1,733,050	34,533	
	財政調整基金	12,786,144	13,006,967	220,822	短期借入金	-	-	-	
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	8,611	6,708	△1,903	
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-	
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
固定資産	有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-	
	土地	-	-	-	固定負債	9,420,063	7,678,070	△1,741,993	
	建物・工作物	-	-	-	地方債	9,342,348	7,609,299	△1,733,050	
	リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-	
	建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	77,715	68,772	△8,943	
	無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
	インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-	
	土地	-	-	-	負債の部合計	11,127,191	9,417,828	△1,709,363	
	建物・工作物	-	-	-	純資産	12,638,255	13,898,246	1,259,990	
	建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-	
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-		
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	10,979,302	10,309,107	△670,195		
投資その他の資産	10,979,302	10,309,107	△670,195	出資金	1,644,719	1,644,719	-		
出資金	1,644,719	1,644,719	-	長期貸付金	-	-	-		
長期貸付金	-	-	-	基金	9,334,583	8,664,388	△670,195		
基金	9,334,583	8,664,388	△670,195	徴収不能引当金	-	-	-		
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-		
その他債権	-	-	-	資産の部合計	23,765,446	23,316,073	△449,373		
資産の部合計	23,765,446	23,316,073	△449,373	負債及び純資産の部合計	23,765,446	23,316,073	△449,373		

Ⅲ 財務構造分析

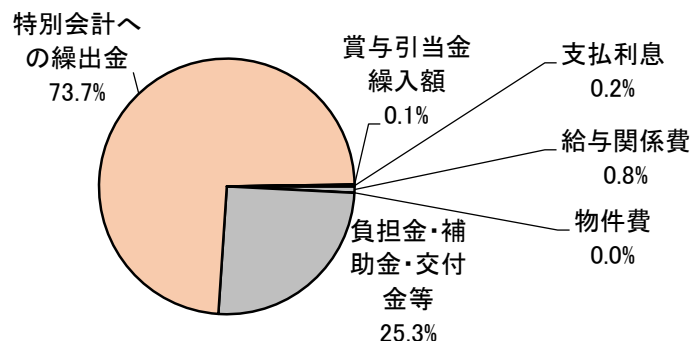
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等	特別職非常勤		
事業従事人数	11.86 人			合計(千円)	
給与関係費等	92,651 千円				92,651
内、時間外勤務手当	4,578 千円				

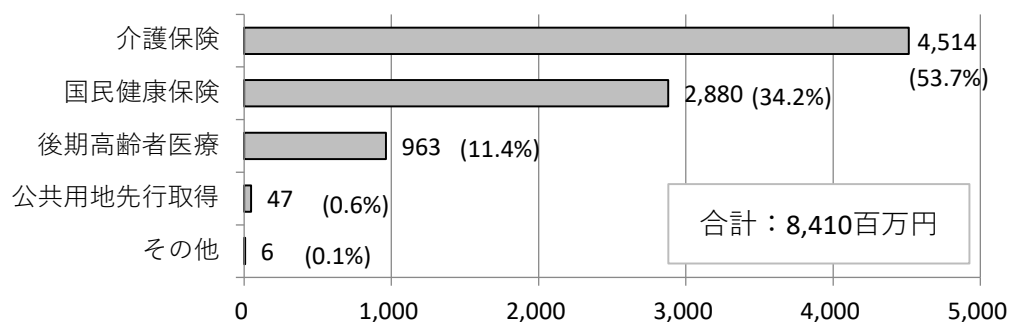
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
基金(投資その他の資産)	公共施設等整備基金 670,195千円の減産)

▽経常費用の構成割合



▽特別会計への繰出金の内訳(単位:百万円)



▽積立基金残高の推移

(単位:千円)

基金名	年度	令和元年度末	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差 B-A
財政調整基金		13,381,519	12,786,144	13,006,966	220,822
公共施設等整備基金		8,323,026	9,334,583	8,664,388	△670,195

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・経常費用のうち73.7%が各特別会計への繰出金、25.3%が上・下水道事業会計への負担金、0.8%が財政事務に従事する職員の給与関係費、0.2%が市債・一時借入金の支払利息となっています。
 ・特別会計への繰出金のうち、53.7%が介護保険特別会計、34.2%が国民健康保険特別会計、11.4%が後期高齢者医療特別会計、0.6%が公共用地先行取得特別会計に対する繰出しです。公共用地先行取得特別会計繰出金については、佐井寺西土地区画整理用地取得に係る物件移転等補償費分を公共用地先行取得特別会計へ繰り出したことから、令和2年度と比較して皆増となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・特別会計への繰出金については、今後も医療費など社会保障分野における経費の増加が予想されます。各会計の事業が健全な財政運営のもとで継続して実施できるよう、今後も各会計の担当課と協議を重ね、繰出金の適正な執行に努めます。
 ・財政調整基金については、経済情勢の悪化や大規模災害の発生などによる財源不足に対応するために、基金残高の確保に努めます。
 ・令和2年度における赤字地方債の発行については、新型コロナウイルス感染症の影響による例外的措置であることに鑑み、今後も発行をできる限り抑制した上で、世代間の負担の公平性を十分に考慮し、市債の適正な管理に努めます。